

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団運営事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	02	01	01
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	消防総務課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	須藤 恭成				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市消防団	意図	消防団の士気の高揚と安全確保のため各種研修等を行い、より迅速で的確な活動体制を維持する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 消防団員報酬支払事務 研修参加事務 制服等被服購入 公務災害補償事務 退職報奨金請求事務 			
事業開始から現在までの状況変化	昭和26年に流山市消防団が発足、最近では消防団員の定員割れが顕著となっているが、待遇改善や研修等を充実させて消防団員の確保を図っていく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	各種会議、研修等の参加人員	84	85	86	人	→→	
②	消防団員年額報酬総額	13,259	13,304	12,924	千円	↓↓↓		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 消防団員の数は全国的に年々減少しており、消防団員の確保に総力をあげて取り組んでいる。 団員の実員数及び現状の体制で活動支障がなく機能していることから、流山市消防団条例の一部を改正して団員の定員を355名から300名へ改正した。（平成31年4月1日施行）		
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		34,545,900	33,885,979	32,903,757				
事業費(b)(円)		29,740,400	29,858,779	29,607,757				
うち一般財源		29,740,400	29,666,779	29,534,757				
職員給与と費(c)(円)		4,805,500	4,027,200	3,296,000				
人役・職員(人)		0.70	0.60	0.50				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	消防団入団勧誘のためのPR。	③取組における課題(Check)	団員の高齢化に伴う若い団員の確保。
②H30に実施した取組(Do)	駅前でのPR活動 入団促進イベントの実施	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	駅前でのPR活動 入団促進イベントの実施